



HOA BINHレポート

JVPPF 内閣府認証 特定非営利活動法人 日本ベトナム平和友好連絡会議(日越友好連)
NPO Japan Vietnam Peace and Friendship Promotion Council

〒162-0801 東京都新宿区山吹町333番地 辻ビル405 TEL 03-3268-4387 FAX 03-3268-6079
c/o. IFCC.#405, TsujiBLD,333, Yamabuki-cho, shinjuku-ku, Tokyo, Japan TEL(81)3-3268-4387/FAX(81)3-3268-6079
http://ifcc1985.com jvccpf@rmail.plala.or.jp



43号

会費/正会員:(個人)5,000円 (団体)50,000円 口座名/日本ベトナム平和友好連絡会議
◎郵便振替 00110-2-188872 ◎三菱東京UFJ銀行・江戸川橋支店(普通)1215225
◎ゆうちょ銀行・〇一九(ゼロイチキョウ)店(当座)0188872

NPO・JVPPF 第十回総会報告

運動の強化・発展のために、一層の会員拡大を

5月27日(土)東京でJVPPF第10回総会を開催しました。大西繁治理事長は「NPO法人から11年が経過して、成果を積み上げてきました。今後の活動に一層尽力をいただき、各県の運動の強化・発展を示して欲しい。今後の大きなテーマは、会員拡大と財政基盤の確立です」と議長就任のあいさつをしました。

開会にあたり松浦正美副会長は「5月連休明けに天草に行きました。宿泊した旅館で、『天草市大江から戦前に松下光弘さんがベトナムに渡り財を成し、ベトナム独立運動へ金銭的支援を行った』ことを知りました。JVPPFは形は違うが精神的には同じ活動です」と村山富市会長に代わって代表挨拶されました。

及川事務局長から「第1号議案 活動報告」「第3号議案 事業計画」、鎌田副理事長から「第2号議案 活動計算書」「第4号議案 活動予算書」「第5号議案 執行体制調整」などの提案後、各県友好協会から貴重な活動報告がされました。

——「来年結成10周年を迎えるに当たり、プロジェクトを立ち上げ組織・運動・理念を継続した形態を

探っています。運動の広がりに応じた組織の安定したシステムをつくることです。2009年から奨学金を取り組み160人を支えてきました。『テトを祝う会』を9回、年5回の『ベトナム学講座』を開催してドクちゃんを招いたり、参加者の要望に応じて料理講座も行いました。来年10周年集会を予定しています」(広島・赤木)

——「本の売り上げをビンさんに手渡し『仁愛の家』がつくられました。本を買った人に『ベトナムレポート』で報告を返すことで、さらにカンパが集まり『仁愛の家』が23軒が増えて今年25軒になります。今年も『仁愛の家』を訪ねます。太陽光発電の専門家が同行するので、発電が可能か調査を行いたいと思っています。老人会に講演や投稿の依頼を受けます。ベトナム戦争を知っている世代です。ハノイ市訪日団が川越市長に表敬訪問をした折、友好都市の話が出ました」(埼玉・平松)

——「2010年のチャリティーコンサートからJVPPFとお付き合いしました。私たちは、ダナン市の『希望の村』の支援を行っています。日本レストランや縫製工場をつくって働く場を保障しています。毎年ツアーで『希望の村』を訪問しています。在日留学生在が『希望の村』を支援しようとベトナムレストランを開設しました」(ふえみん・渡邊)



- | |
|-------------------------------------|
| 本号の内容 |
| ●第十回総会報告 |
| ●広がる活動——広間HMPF、NGO・時遊人
日越交流コンサート |
| ●留学生の便り、10周年を迎えた村山学校 |
| ●枯葉剤被害追跡DVDが映像祭で受賞 |
| ●2017ベトナムアンサンブル |
| ●掲示板 |

また、増大しているベトナム研修生・留学生の実態が議論になりました。JVPFの組織的な性格もあり「身近なベトナムの人の実態をつかみ、集約して会員相互で共有化すること」重要性を確認しました。

総会は全ての議案を全会で承認しました。

総会終了後、恒例の懇親会を開催しました。来賓の駐日ベトナム大使館のグエン・チュオン・ソン公使・次席代表は「ベトナムと日本の関係はますます親密になっています。政府間だけでなく民間相互の友好・連帯を深めることが大切です」とあいさつがありました。

同時に日本科学技術振興財団の第58回科学技術映像祭「自然・暮らし部門」部門優秀賞を受賞した『ト



アとトゥオン』を作製した鈴木伊織さんの業績を祝し、参加者の親睦を深めました。

懇親会には、オペラ歌手の角田和弘さん、

在日ベトナム人歌手ハイ・チュウさんも駆けつけていただきました。

【第1号議案】

2016年度事業報告

【組織活動】——略

【事業】——略

- 1、教育支援事業（1）——少数民族出身高校生奨学金支援
- 2、教育支援事業（2）——村山記念JVPF日本語学校
- 3、国際協力事業（1）——枯葉剤被害者支援のための活動
- 4、国際協力事業（2）——枯葉剤爆弾被害者への「自立支援プログラム」（タイビン・ボランティア）
- 5、国際協力事業（3）——ベトナム民族アンサンブルチャリティコンサート
- 6、国際交流事業（1）——文化・スポーツ交流
- 7、国際交流事業（2）——日本語研修
- 8、その他の事業（1）——会員及び企業の事業及び事業展開への「情報提供の事業」

【第3号議案】

2017年度事業計画

【組織活動】——要約

- 1、2017年度はJVPF活動開始17年目（結成1999年）となり、NPO移行10年目となります。

「アジアの平和なくしてベトナムの発展もない」という立場で日越の一層の友好活動に努めたいと思います。

- 2、組織の強化発展のための活動について

①認定NPOへの移行の件は、条件が整うよう会員拡大に努めたいと思います。

②組織拡大——活動の基礎です。会員拡大に努めます。

同時に支部作り、あるいは友誼的団体との提携を強めます。

③会報（ホアビンレポート）を2回発行、会員連絡報を2回発行、常任理事会は3回開催を行っていきます。

- 3、各支部及び友誼組織の活動について

- 4、留学生紹介幹旋事業を村山記念日本語学校と提携し、軌道に乗るよう努力していきます。

【事業】

- 1、教育支援事業（1）——少数民族出身学生奨学金支援

①北部ハザン省での支援事業の2年目を進めます。

②またラオドン省で鹿児島支部が、クアンチ省で広島HVPFが夫々奨学金支援を行います。

- 2、教育支援事業（2）——村山記念JVPF日本語学校

①日本への留学生増を受けた「留学センター」（仮称）の活動について、具体的に活動を進めます。

- 3、国際協力事業（1）——枯葉剤被害者支援のための活動

①戦争被害者が「棄民」とならないよう「私の体の中では戦争が終わっていない」という叫びに耳を傾け支援活動を継続していきます。

②特に、ベトナムの貧困地域である山岳地帯や少数民族生活地域での被害者の状態は今なお悲惨ですので支援を工夫していきます。

- 4、国際協力事業（2）——枯葉剤爆弾被害者への「自立支援プログラム」（タイビン・ボランティア）

①タイビン・リハビリ施設での支援活動は目途がつかまないので、自立の気持ち強い障害者を「一人でも」支えていくことを検討していきたいと思います。

②また、ベトナム側の被害者への援助の全体像がどうなっているのか、政策や施設の状況について調査していきます。

③このため枯葉剤被害追跡記録DVDをキャンペーンとして活用していきます。

- 5、国際協力事業（3）——ベトナム民族アンサンブルチャリティコンサート

①今年は22年目となりますがプログラムの工夫や協力の申し出、ベトナム側での関心の高まりなどありますので、今年度も開催していきます。



挨拶頂いたグエン・チュオン・ソン公使・次席代表

②一方、必要性に理解を頂きながらも年々開催が困難になってきている状況もありますので、再考が必要かと思われます。会員の皆様のご意見を頂きながら整理検討をしていきたいと思ひます。

6、国際交流事業（1）——文化、スポーツなどの分野での交流

①これまでのいけばな交流、明大マンドリン倶楽部公演、わらび座公演、日越オペラ交流、ギターの日越交流コンサートなどの文化交流、ダラット・マラソン開催などの経験に沿ひ、諸テーマでの交流の可能性を検討していきます。

7、国際交流事業（2）——小中学生夏季日本語研修

①村山学校日本語修学学生に限らず、今後とも可能性を探っていききたいと思ひます。また、少年サッカーなどスポーツ分野も検討していきたいと思ひます。

8、その他の事業（1）——会員及び企業の事業及び事業展開への「情報提供の事業」

①今年も、各分野での相互交流、調査活動などに寄与していきたいと思ひます。

【第5号議案】

第5号議案として「2017年度執行体制調整の件」を建て、任期途中ではありましたが、欠員理事2人の補充を行い、同時に理事長委嘱事項により執行体制の微調整を行いました。

第十回総会で新任された理事（任期1年間）

仙葉 久、野中靖志

第20回理事会で互選された常任理事（任期1年間）

宝田公治、御園生純、伊藤 剛、仙葉 久、野中靖志、

理事長代行（任期1年間）

宝田公治

事務局体制（任期1年間）

事務局長 仙葉 久

事務局次長 宝田公治

【第2号議案】

第2号議案「2016年度活動計算書」にかかわる報告は以下の通りです。

2016年度活動計算書	
I 経常収益	2,616,272
II 経常費用	2,636,558
当期経常増減額	-20,286
前期繰越正味財産額	-128,237
次期繰越正味財産額	-148,523
2017年度活動予算書	
I 経常利益	2,495,000
II 経常費用	2,390,000
当期経常増減額	105,000
前期繰越正味増減額	-148,237
次期繰越正味増減額	43,237

2016年度貸借表	
I 資産の部	
1, 流動資産	289,212
現金預金	149,212
未収金	140,000
2, 固定資産	0
II 負債の部	
1, 流動負債	437,735
2, 固定負債	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産額	-128,237
当期経常増減額	-20,286
正味財産額	-148,523

ベトナム戦争枯葉剤爆弾者支援チャリティーコンサートは今年で22年目を迎えます。唯一の被爆国で、第五福竜丸、フクシマ原発事故と被曝した国の民として、“わたしの体の中では戦争が終わっていない”という枯れ葉剤爆弾被害者の叫びを受けとめ、風化してはならないことを問い続けたいと企画されています。今年もベトナムの一流アーティストたちで構成された国立ボンセン歌舞団選抜グループが来日します。

2017年度ベトナムアンサンブル公演日程表 (2017/7/1付)

- 10月16日(月) 栃木・小山市/市立文化センター小ホール
- ◎10月17日(火) 宮城・塩釜市/ホテルグランドパレス催事場
- ◎10月18日(水) 岩手・花巻市/文化会館中ホール
- ◎10月19日(木) 青森市/AUGA・AV多機能ホール
- 10月20日(金) 山形県内
- △10月21日(土) (調整日) ◎確定 ○調整中 △要請中
- ◎10月22日(日) 福島・石川町/石川小学校クリスタルホール
- ◎10月23日(月) 新潟・上越市/高田公園オーレンプラザ
- ◎10月24日(火) 富山市/ボルファートとやま多目的ホール
- ◎10月25日(水) 埼玉・川口市/市民ホール「フレンディア」
- ◎10月26日(木) 東京・世田谷区/成城ホール
- ◎10月27日(金) 神奈川・相模原市/南市民ホール
- 10月28日(土) 愛知県内
- ◎10月29日(日) 静岡・伊豆の国市/葦山時代劇場ホール
- △10月30日(月) (調整日)



息の長い活動を一步一步〜広がる活動

ナムディン省で9年間の奨学金支援活動

NGO 時遊人

2009年からこれまでにナムディン省のタンタイン中学校およびロックアン小学校には書籍2000冊以上、本棚4台、文房具の詰まったランドセル170個、スピーカー2台、ノートPC7台、コピー機1台を寄贈し、累計160名の生徒に奨学金支援を行ってきました。奨学金は振り込むのではなく、現地に訪問し生徒に直接手渡しすることで奨学金の流れを明確にし支援者様と生徒の人間関係の構築をも応援しています。



寄贈のランドセルを抱えた小学生たち。

2017年2月には支援者20名と一緒に現地訪問してまいりました。

2月21日にナムディン省タンタイン中学校を訪問した際には生徒達は旗を作って待っていてくださり、歌や踊りで歓迎してくださいました。支援者の皆様からの手紙を生徒へ直接手渡した

り、全校生徒に向けて支援者の方々からのメッセージ

を伝えたり、また一緒に700人前の鶏のから揚げを作って、日本の食文化についても伝えることができました。

これからも継続した支援をしていくことに尽力していきたいと思っております。

来年は設立10周年——広がる活動分野

広島・HVPF

広島ベトナム平和友好協会（HVPF）は来年迎える「設立10周年」の記念運動を進めています。柱は10周年を機に、設立前史8年を含め16年余りの活動を通して培われた理念と作風を継承し、組織と活動の永続化を図るために一般社団法人に移行することです。記念事業としては、一昨年から始めた年間5講座の「“ベトナムがく”しみん講座」（6～12月）に加え25名定員で年4回開催する「ベトナムがく」（6～3月）、広島とベトナムの民話を題材にしたオリジナルの「朗読劇」（背景画とオリジナル曲がバックに流れるDVD）の創作。作成したDVD（♪オルゴールシアター「広島とベトナムの民話」）は、東広島市内の幼稚園・保育所、小中高等学校や大学などに贈り、故郷理解と国際理解の一助としてもらう予定です。今秋の「第12次ベトナム平和友好訪問団」が交流先のクアンチ省やフエ、ホーチミンの学校などに寄贈とオルゴール演奏も予定していま



好評のベトナム料理教室

す。来年、2018年は10回目を迎える「テトを祝う会」（2月）、ベトナム大使を迎え「日越国交樹立45周年記念講演会&HVPF設立10周年記念式典」開催（7月）、「日越国交樹立45周年記念訪問団」派遣（10月）を予定しています。

一連の記念事業を会員だけでなく、他の交流団体や文化団体、中学から大学までの生徒や学生、一般市民の皆さんに企画から準備、運営まで参画していただき進めています。その最初の取り組みとして、6月12日、第1回「ベトナムがく」を開きました。一昨年からの「“ベトナムがく”しみん講座」の一つとして開催していましたが、大変好評で、「年4回（春夏秋冬）開いて欲しい」との要望を受けて始めたものです。昨年の受講生の中から5名の方に世話人を担っていただき、カンボジア&ベトナム料理専門店「アブサラス」店長を講師に楽しく美味しい教室が開催されました。第1回目は「黒一点」、広島大学のアメリカ人留学生が受講しましたが、次回以降も複数の男性から申し込みをいただいています。

日越交流コンサートがホーチミン市で実現〜友好会館ホールに380人が参加

JVPP

2016年のベトナムアンサンブル福山市及び西東京市公演で協賛参加いただいた隻腕のギタリスト橋本道範さんとベトナムの隻腕のギタリスト・グエン・テ・ビンさんの提携で日越交流コンサートが2017年4月22日、ホーチミン市で実現しました。このチャリティーコンサートには多くのホーチミン市の音楽家と日本からフォルクローレグルー



長：グエン・テ・ビン）に贈呈されました。

下：孤児と障害者のための学校を慰問
左：交流コンサートの模様

プ“ESPERE UN POCO”も協賛参加し、益金は河上総領事の手からビンズオン省の「孤児と障害者のための学校」（校



留学生の便りーハザン奨学金支援に参加して

昨年からはまったハザン省少数民族中学生奨学金支援活動には日本人以外からも協力の申し出がありました。第一期はベトナム人の方から4人の奨学生へサポートしていただいております。

今回、その中のお一人 TRAN Thi My Hanh さんに思いを寄せていただきました。(原文は英語、翻訳 JVPF)

私は TRAN Thi My Hanh といいます。ベトナムの Nha Trang 大学の講師です。今、私は東京海洋大学 (TUMSAT) の博士課程に留学しています。TUMSAT は、Times Higher Education (THE) の世界最優秀小規模大学ランキング2016で20位の大学です。

私は日本の奨学金を受け、先進国であるとともに伝統的な文化とモ

ダニティを融合させた国に留学出来る幸運です。私は長い間日本で発展してきた伝統的な製品である蒲鉾の加工について研究しています。ベトナムでは、日本、米国、韓国、ロシアなどの主要市場にすり身をほとんど輸出しています。すり身は多くの種類のかまぼこを作ることができます。ベトナムはすり身の多利用がされていません。私は将来的にベトナムでのすり身の産業を発展させたいと考えています。

私は世界各国の多くの教授や友人や、特に国際会議などにも出席して学び、働いています。私はここ留学中の3年間、教育、科学、社会活動、観光などについて、日本人や世界各国の友人たちから多くのことを学びました。

この間、私は日本とベトナムの人々の文化の交流を促進するため、東京国際交流センター (TIEC) が主催する社会活動や地域社会に積極的に参加しています。私は、日本を訪問したベトナム国家元首に接見する学生の一人に選ばれたことを光栄に思っています。2015年9月に、グエン・フー・チョン (Guyen Phu Trong) ベトナム共産党書記長から赤坂迎賓館で行われた受賞式に招待されたことは私の人生で名誉



村山富市会長と

なことでした。

私はまた、「愛の為に米を届ける」というチャリティーにも参加し、お米、春巻き、その他必要なものを、浅草の辺りや隅田川沿い (東京) におられる日本のホームレスの方に届けてきました。

JVPF の活動に参加する機会もありました。大分県で村山富市・元総理大臣と会う機会がありまし

た。彼は JVPF の創設者でした。JVPF ベトナムを長い間支援してきました。そこで、ベトナム・ハザン省の貧しい学生たちに奨学金を与える活動のためにこの会議に参加しました。JVPF と協力して私の国の学生に奨学金を授与することができて大変うれしく思います。ベトナム人への日本人の心に敬意を表し、今後も JVPF 活動に引き続き参加していきたいと考えています

卒業後、私はベトナムのニャチャン大学で仕事を続けますので、私は日本の国や人々に関する私の貴重な教訓と経験について学生と分かち合う機会があります。近い将来、私の学生の多くがベトナムの発展に寄与するために日本で学ぶ機会を得ることを願っています。私は、ベトナムと日本が将来に渡って強く強く協力しあうことを心より望んでいます。(TRAN Thi My Hanh)

枯葉剤被害者追跡記録 DVD『トアとトゥオン』が映像祭で受賞

2015年9月に完成した枯れ葉剤被害者追跡記録 DVD 第3版『トアとトゥオン』が日本科学技術振興財団の第58回科学技術映像祭で「自然・暮らし部門」部門優秀賞を受賞致しました。映像作家・鈴木伊織さんの長年の尽力に感謝したいと思います。同時に、全国の科学館で上映会が企画されていますので地元で問合せの上ご参加くださいますよう呼掛けます。また、DVD 購入及び上映会と講演にご協力をお願いします。

以下、鈴木伊織さんに現在の思いを寄稿いただきました。

既報の通り先日、文部科学省や NHK 主催による「第58回科学技術映像祭」に於きまして、JVPF 製作による「トアとトゥオン～ベトナム戦争の子ども達枯れ葉剤被害児童の追跡調査記録2014」が自然・暮らし部門の優秀賞を授賞致しました。御協力頂きました方々…特にプロデューサーを務めて下さった鎌田篤則、細谷久美子両氏に心より御礼申し上げます。

ベトナム戦争の負の遺産ともいうべき枯れ葉剤問題…戦後40年を経た現在もベトナム戦争の負の遺産ともいうべき枯れ葉剤問題…戦後40年を経た現在も全国におよそ300万人もの被害者がおり、その影響は第4世代=ひ孫の世代にまで広がっています。今なおベトナムにとって国の根幹を揺るがせかねない大事であるはずのこの問題…しか



トゥオンさんと鈴木さん

し実際には、一般的な国民の関心は経済発展に向いており、「枯れ葉剤問題など過去の話」とばかりに急速な風化が進んでいます。一方、枯れ葉剤を使用したアメリカとの補償に向けた話し合いも一向に進展していません。

トアやトゥオンら枯れ葉剤被害者は“忘れられた存在”として社会の外に置かれ、無常の日々を過ごしています。被害者の人権が見直され、社会参加の機会が与えられる…いつの日か、そん

な未来が訪れる事を私は願ってやみません。今回の授賞を糧に、これからも

私はトアとトゥオンのその後を記録し続けてゆく所存です。彼女達の人生の

伴走者になりたい…そんな思いからです。(鈴木伊織 2017・6・30)

村山富市記念 JVPF 日本語学校開設 10 周年にあたり

校長 Vu Quang Luan

開設 10周年を迎え、関係者の皆さまに御礼を申し上げます。ホーチミン市に開設された村山富市記念 JVPF 日本語学校(略:村山日本語学校)は、JVPF 教育支援プログラムの一環として、2005年に開始された少数民族出身高校生奨学金制度に続き、ベトナムで日本語学習熱が高まっている中で日本への留学や就学が経済面や事前学習等で必ずしもスムーズにいかない状況を支援できないものかと思案して始まりました。

これまでの経過を振り返ると、2006年10月ハノイでの村山富市-元総理大臣とグエン・ミン・チュート・ベトナム国家主席の会談があり、一年後の2007年9月に開校されました。

当初、村山日本語学校は JVPF 教育支援プログラム(無料奨学制)により、ホーチミン市レクイドン公立高校1年生240人を対象に日本語授業を開始しました。9月7日の開校式において、村山富市会長が挨拶をされ、同プログラム助成団体の古川隆之・全労済理事長(当時)、在ホーチミン日本国総領事、ホーチミン市教育訓練局長も来賓として祝辞を述べられました。ホーチミン市ベトナム日本友好協会会長はじめホーチミン市内の高校校長も多く列席いただきました。

2008年6月ホーチミン市教育訓練局の要望もあり、他校17校の高校生320人を受け入れ、日本語授業を進めました(延べ560人の高校生を対象、同時に JVPF の無料奨学制を選別登録制に変更)。2010年に第1期生が卒業。2012年より青少年センターにおいて小学生・幼児を対象にした日本語クラス、また、留学生・研修生を対象とした日本語クラスを開始しました。

2014年ホーチミン市ゴオクイン公立高校でも高校生を対象に日本語クラスを開始しました。2017年現在、村山日本語学校において、延べ600人の学生、実習生、会社員、一般人が登録をして日本語を学んでおります。2010年から2017年6月現在までに日本に渡った留学生、研修生は合計428人、その内40人に上る留学生は北海道、石川、静岡、広島、福岡、大分の日本語学校や専門学校、大学で学んでいます。

経営面では、2010年9月～2014年3月の間、日本側で村山学校育英基金を設立され、学費一部支援によって学校運営経費を支援いただき、2013年～2016年には協和化学工業株式会社様から援助金をいただけてきました。これらの支えによって2015年からは自立した運営に至りました。

現在、村山富市先生の「ベトナム人青少年の就学」の思いと志(こころざし)を拝受し、いただいた「継続は力」の色紙を掲げて、ベトナムに於いて日本語の普及と日本文化の紹介、日本人学生との国際交流を行っております。多くの日本人学生・青少年が村山富市記念日本語学校を訪れ、学生達との交流会を行っております。また、「百聞は一見に如かず」の諺にあるように、村山富市記念日本語学校が企画してきた「夏研修」(数回実施)では学生や家族が日本を訪れ日本を身近に感じる成果を上げてきています。

今後とも初期の志を忘れずに鋭意努力していきたいと思っております。今後ともご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

2017年6月30日

掲示板

・ハザン省少数民族中学生奨学金の2017年度サポーター10人が足りません。サポーター登録にご協力をお願いします。2017年度奨学金贈呈式訪問は JVPF 富崎支部を中心に2017年末か2018年1月ごろを予定。

・5月27日、第十回総会会場において、平松伴子さん(JVPF 埼玉連絡会

副会長)から、寄付金20万

円。平松さんは元・ベトナム

国家副大統領グエン・ティ・

ビンさんの記録書などの著作

の益金をクアンナム省で枯葉

剤被害者のための「仁愛の家

」建設に寄付されているが、

今回、著作活動の益金の一

部を JVPF に寄付いただいた。

・枯葉剤被害者追跡 DVD『トアとツォオン』の第58回科学技術映像祭・部門優秀賞の授与式が4月21日おこなわれ、映像作家の鈴木伊織氏と JVPF から田中秀樹・監事が出席。

・枯葉剤被害者追跡 DVD『トアとツォオン』の上映と講演が6月18日東広島市で開催され、鈴木伊織さんが講演をおこないました。

・開設10年を迎えた村山富市記念 JVPF 日本語学校(ホーチミン市)の日本研修団(17人)が7月5日から来日。学校開設10周年記念でもあり村山富市 JVPF 会長との会食会も予定。

・ JVPF 埼玉連絡会は2017年7月31日からハノイ、クアンナムを訪問し枯葉剤被害者のための「仁愛の家」建設支援状況を視察。

・9月18日からホーチミン市で開催予定の「クラシック・ボーカル コンクール(国立ホーチミン市音楽院主催)」に審査員としてオペラ歌手

角田和弘さんが招待される模様。

角田さんは2014年日越オペラ

交流コンサートをホーチミン市

で開催しその縁が繋がって

きたもの。

・広島 HVPF (広島ベトナム

平和友好協会)は10月10日から第12次平和

友好訪問団を予定。クアンチ省での少数民族学

生奨学金贈呈の他、製作中の「オルゴールシア

ター『広島とベトナムの民話(DVD)』寄

贈・演奏を計画。

・ JVPF 鹿児島支部がおこなっているラムドン省での少数民族奨学金は5年目を迎える。贈呈式訪問は2017年末か2018年1月を予定中。

・枯葉剤被害者支援の2017年冬 JVPF 友好訪問団はハザン省奨学金贈呈かラムドン省奨学金贈呈にあわせて計画されます。※9月に案内予定。



佐藤副会長に寄付金が渡される



抱負を語る角田さん

(付) 本号の送付にあたっては旅行社アイエフシーから送料の一部便宜供与を受け、アイエフシーから依頼のツアー・チラシ(キューバ)を同封しています。